

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

玩具小売店舗におけるヒートポンプの
導入等による空調設備の更新

排出削減事業者名：日本トイザラス株式会社

排出削減事業共同実施者名：環境経済株式会社

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	日本トイザラス株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名①	トイザラス・ベビーザラス貝塚店
住所①	大阪府貝塚市石才217 ホームセンターダイキ貝塚店内
事業所名②	トイザラス香里園店
住所②	大阪府寝屋川市日新町5-5 アル・プラザ香里園3F
事業所名③	トイザラス高松店
住所③	香川県高松市屋島西町字百意思1912-1 パワーシティ屋島2F
事業所名④	トイザラス倉敷店
住所④	岡山県倉敷市水江1 イオンモール倉敷1F
事業所名⑤	トイザラス・ベビーザラス宮崎店
住所⑤	宮崎県宮崎市中村西3-94-1 デオデオ宮崎本店2F
事業所名⑥	トイザラス熊本店
住所⑥	熊本県熊本市上南部町2-2-2 ゆめタウンサンピアン1F
排出削減事業共同実施者（J-クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	環境経済株式会社
その他関連事業者（注）	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

玩具小売店舗におけるヒートポンプの導入等による空調設備の更新

2.2 排出削減事業の目的

売場内の空調機器を高効率の機器へ更新することにより、省エネルギー並びに CO2 排出削減を図る。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

本事業は、以下の6店舗の設備更新事業である。

- ①貝塚店：ガスヒートポンプの更新（都市ガス）
- ②香里園店：ガスヒートポンプの更新（都市ガス）
- ③高松店：ガスヒートポンプの更新（都市ガス）
- ④倉敷店：ガスヒートポンプの更新（LPG）
- ⑤宮崎店：ガスヒートポンプの更新（都市ガス）
- ⑥熊本店：ガスヒートポンプの更新（LPG）

更新前



既存ヒートポンプ(廃棄)
・YMCJ560M (2台)
・冷房COP:0.946
・暖房COP:1.19



既存ヒートポンプ
・YMCJ560M (6台)
・冷房COP:0.946
・暖房COP:1.19



既存ヒートポンプ
・YMCJ355M (1台)
・冷房COP:0.944
・暖房COP:1.19



既存ヒートポンプ
・YMCJ280 (1台)
・冷房COP:0.927
・暖房COP:1.19

燃料:都市ガス

更新後



高効率ヒートポンプ(導入)
・SGP-H560M(2台)
・冷房COP:1.46
・暖房COP:1.47



既存ヒートポンプ
・YMCJ560M (6台)
・冷房COP:0.946
・暖房COP:1.19



既存ヒートポンプ
・YMCJ355M (1台)
・冷房COP:0.944
・暖房COP:1.19



既存ヒートポンプ
・YMCJ280 (1台)
・冷房COP:0.927
・暖房COP:1.19

燃料:都市ガス

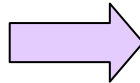


図1 貝塚店の設備概要

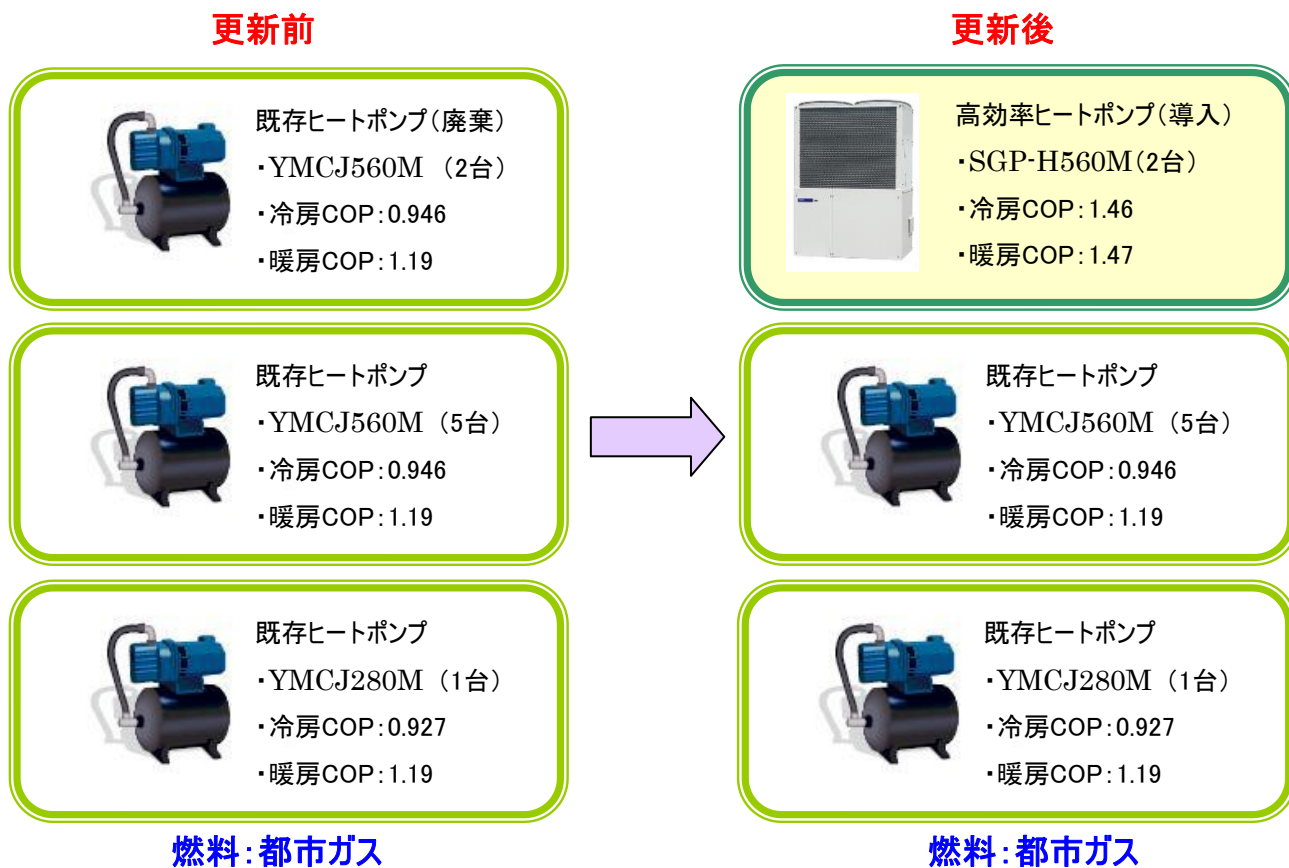


図2 香里園店の設備概要

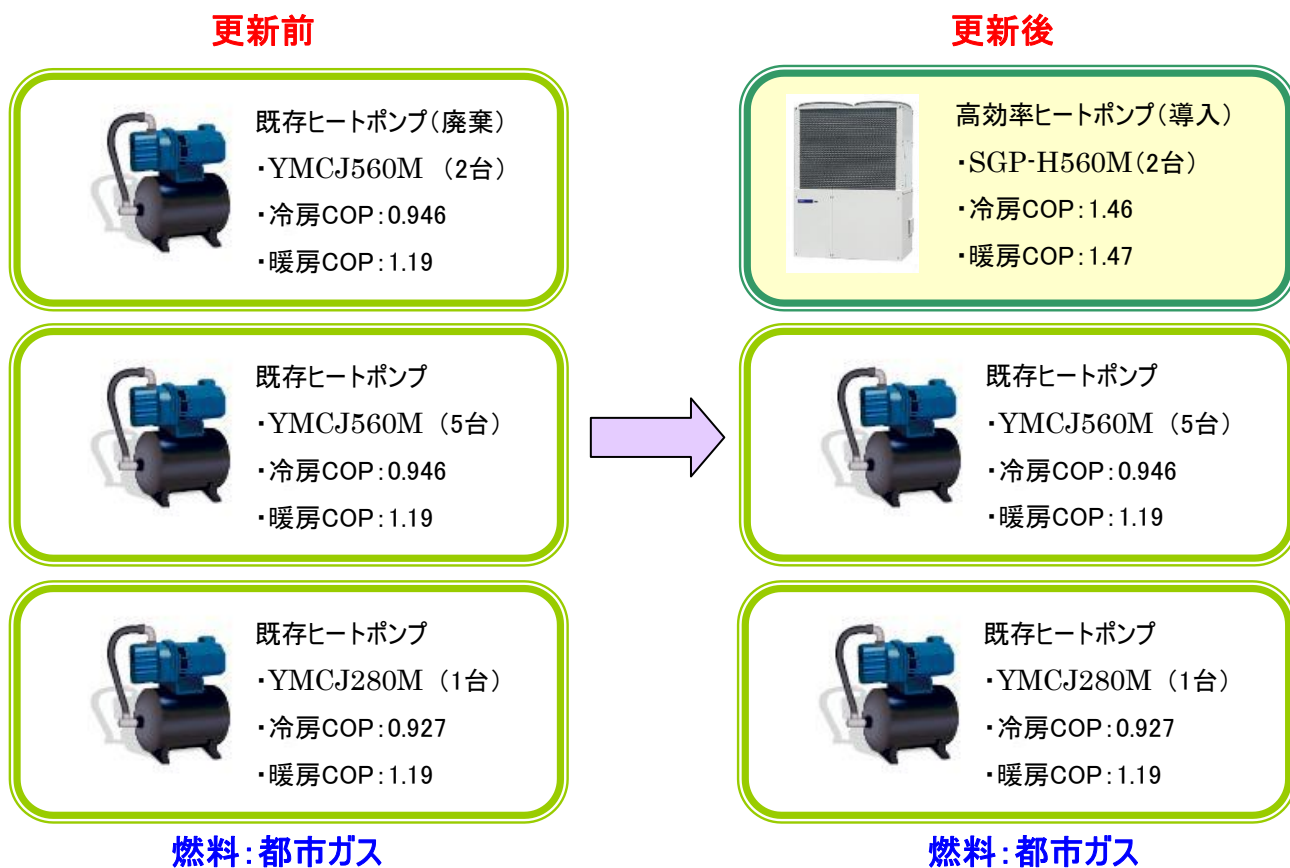


図3 高松店の設備概要

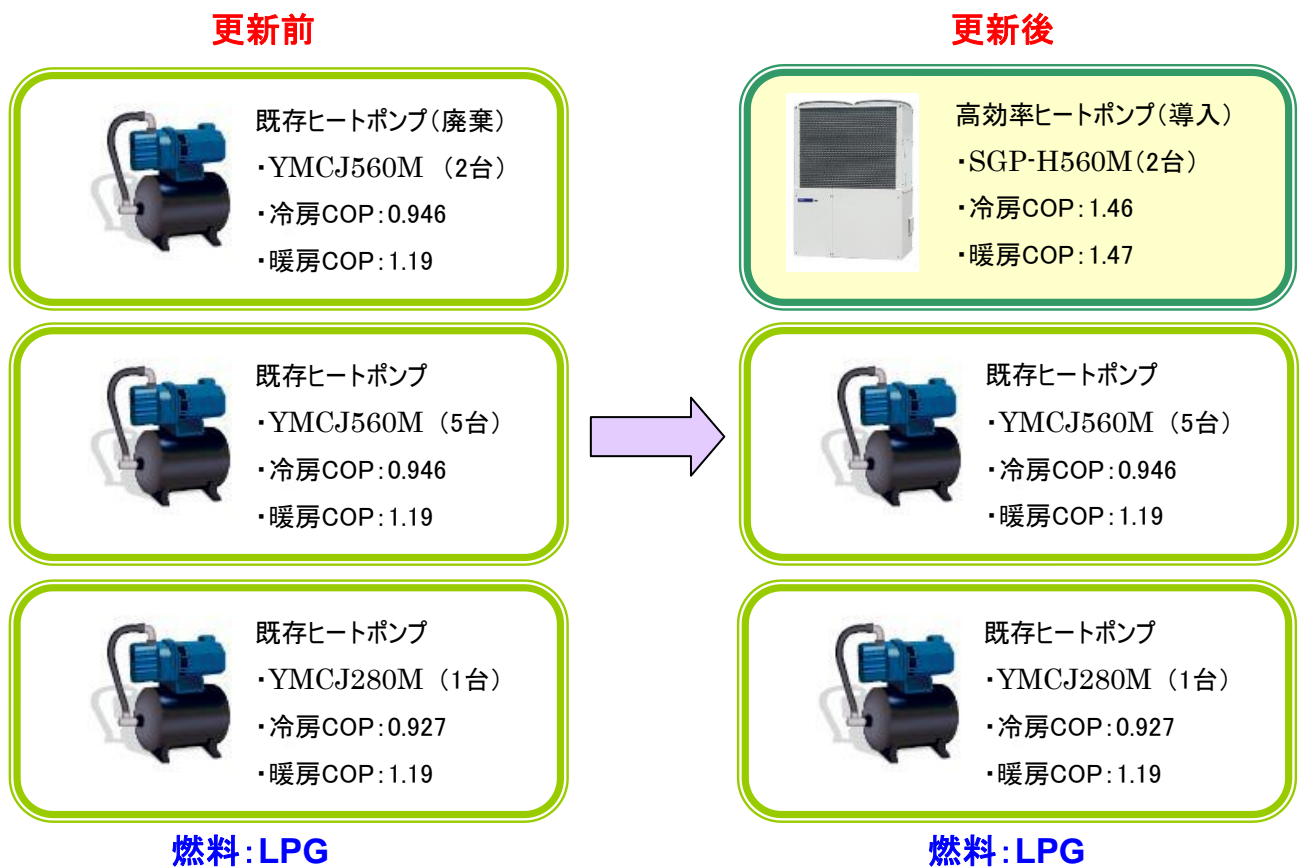


図4 倉敷店の設備概要

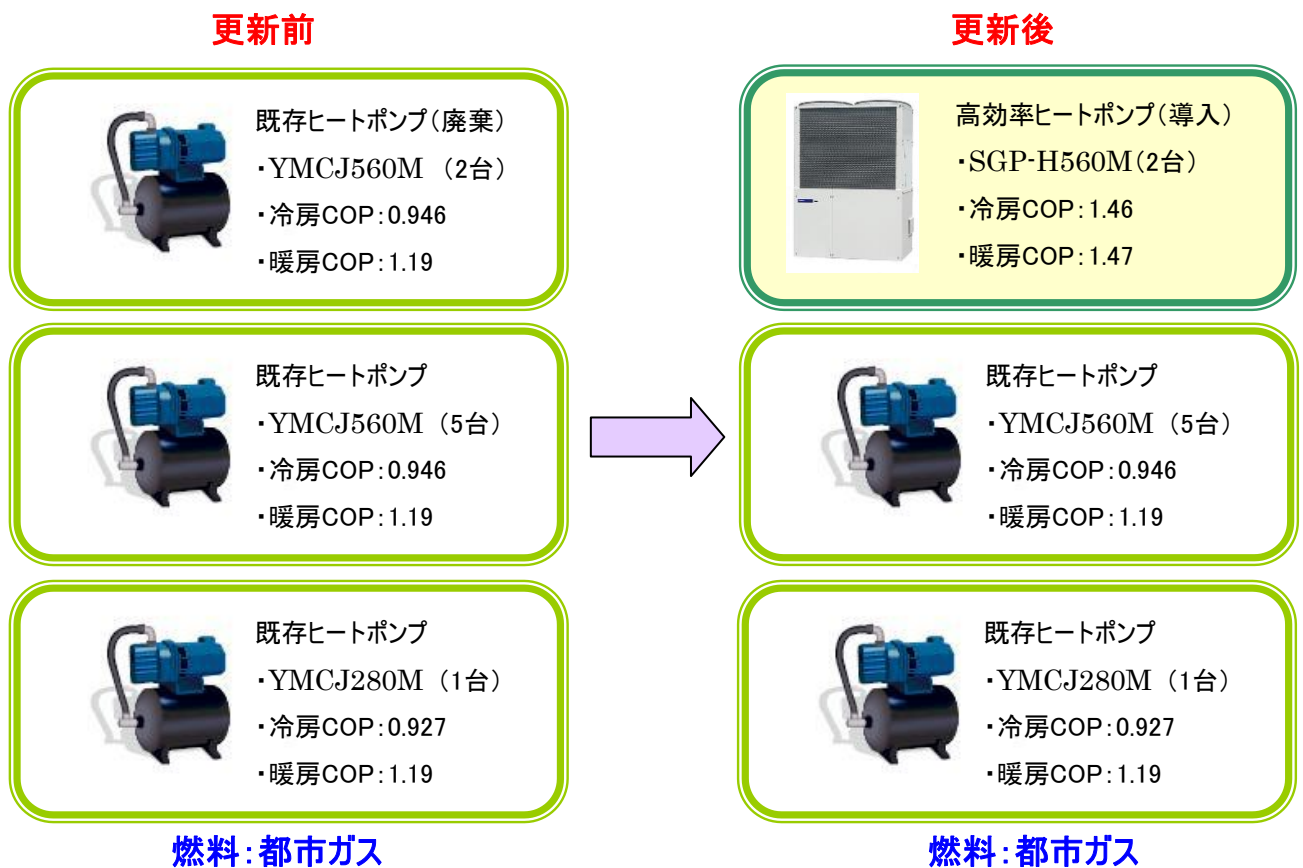


図5 宮崎店の設備概要

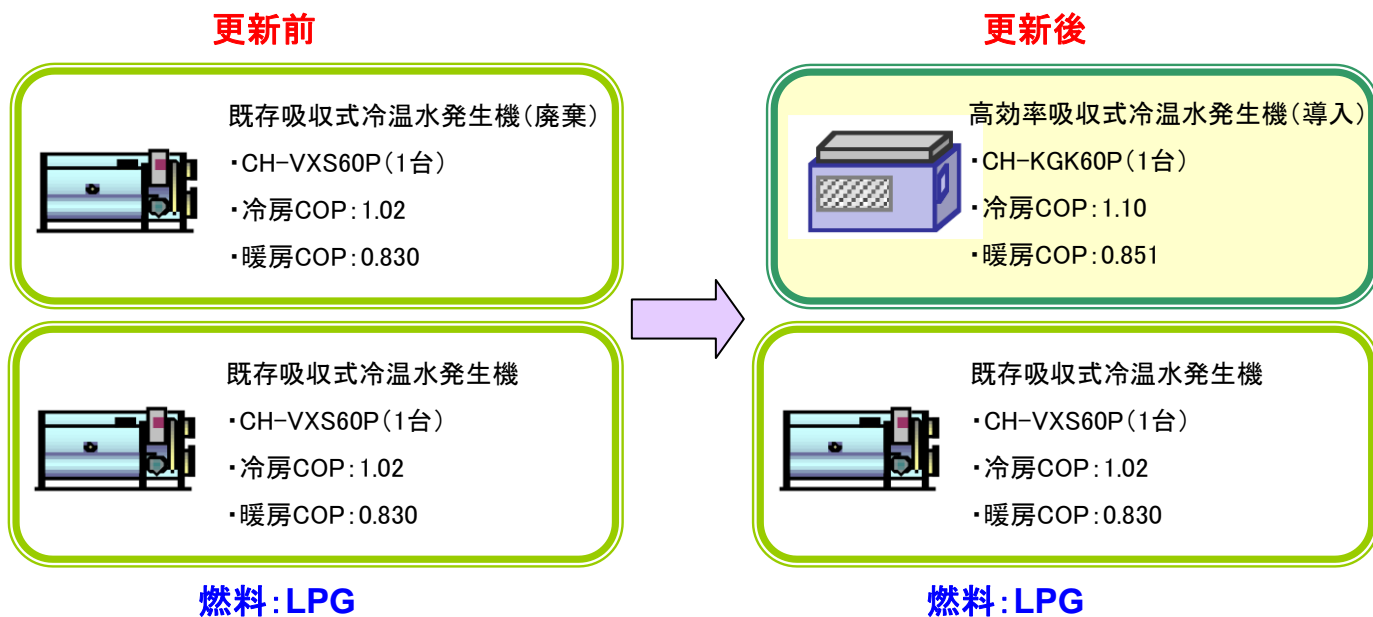


図 6 熊本店の設備概要

2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	■はい
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	■はい

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

- ・排出削減事業者代表者名の変更

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2008年11月1日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間) 2013年4月1日 ~ 2016年10月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
004	空調設備の更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
空調設備 (貝塚店)	営業時間 (時間)	事業実施前燃料使用量 (千 Nm ³)
		営業時間 (h)
空調設備 (香里園店)	営業時間 (時間)	事業実施前燃料使用量 (千 Nm ³)
		営業時間 (h)
空調設備 (高松店)	営業時間 (時間)	事業実施前燃料使用量 (千 Nm ³)
		営業時間 (h)
空調設備 (倉敷店)	営業時間 (時間)	事業実施前燃料使用量 (千 m ³)
		営業時間 (h)
空調設備 (宮崎店)	営業時間 (時間)	事業実施前燃料使用量 (千 Nm ³)
		営業時間 (h)
空調設備 (熊本店)	営業時間 (時間)	事業実施前燃料使用量 (千 m ³)
		営業時間 (h)

4.2.2 活動量の採用根拠

以下の理由により、「営業時間」を活動量として採用した。

- ・設備更新の前後で売場面積の広さに変更がなく、空調設備における燃料消費量に最も大きく影響する要因は営業時間と判断できる
- ・営業時間を計測可能である

4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

本事業の範囲は、更新される空調設備及び当該空調設備により空調が行われる範囲 (貝塚店・高松店・倉敷店・宮崎店・熊本店の売場) である。

5 モニタリング対象指標

①貝塚店

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合) 変更理由
M-1	事業実施前の燃料使用量	千 Nm ³ /年	冷房：49.2 暖房：5.11	請求書	
M-2	事業実施前燃料の単位発熱量	GJ/千 Nm ³	(2013 年度) 44.0 (2014 年度) 46.4	デフォルト値	
M-3	事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/千 Nm ³	(2013 年度) 44.0 (2014 年度) 46.4	デフォルト値	
M-4	事業実施前の活動量 (冷房期) 事業実施前の活動量 (暖房期)	h/年	冷房：2140 暖房：1510	計測	
M-5	事業実施後の活動量 (冷房期) 事業実施後の活動量 (暖房期)	h/年	冷房 (2013 年度) 2140 (2014 年度) 2140 (2015 年度) 2140 (2016 年度) 2140 暖房 (2013 年度) 1510 (2014 年度) 1510 (2015 年度) 1520 (2016 年度) 0	計測	
M-6	燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	t-CO ₂ /GJ	0.0517	デフォルト値	
M-7	事業実施後の燃料使用量	千 Nm ³ /年	冷房	請求書	

			(2013 年度) 42.4 (2014 年度) 37.4 (2015 年度) 34.9 (2016 年度) 38.3 暖房 (2013 年度) 3.9 (2014 年度) 6.1 (2015 年度) 4.1 (2016 年度) 0.0		
--	--	--	--	--	--

②香里園店

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法	(モニタリング方法に更
				根拠資料	ある場合) 変更理由
M-1	事業実施前の燃料使用量	千 Nm3/年	冷房：34.4 暖房：6.68	請求書	
M-2	事業実施前燃料の単位発熱量	GJ/千 Nm3	(2013 年度) 44.0 (2014 年度) 46.4	デフォルト値	
M-3	事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/千 Nm3	(2013 年度) 44.0 (2014 年度) 46.4	デフォルト値	
M-4	事業実施前の活動量 (冷房期) 事業実施前の活動量 (暖房期)	h/年	冷房：2355 暖房：1664	計測	
M-5	事業実施後の活動量 (冷房期) 事業実施後の活動量 (暖房期)	h/年	冷房 (2013 年度) 2354 (2014 年度) 2352 (2015 年度) 2354 (2016 年度) 2354 暖房 (2013 年度) 1662 (2014 年度) 1664 (2015 年度) 1675 (2016 年度) 0	計測	
M-6	燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	t-CO2/GJ	0.0517	デフォルト値	
M-7	事業実施後の燃料使用量	千 Nm3/年	冷房 (2013 年度) 22.6 (2014 年度) 27.1	請求書	

			(2015 年度) 29.0 (2016 年度) 24.0 暖房 (2013 年度) 0.4 (2014 年度) 0.7 (2015 年度) 1.8 (2016 年度) 0.0		
--	--	--	--	--	--

③高松店

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法	(モニタリング方法に変
				根拠資料	更ある場合) 変更理由
M-1	事業実施前の燃料使用量	千 Nm3/年	冷房：41.0 暖房：8.19	請求書	
M-2	事業実施前燃料の単位発熱量	GJ/千 Nm3	(2013 年度) 44.0 (2014 年度) 46.4	デフォルト値	
M-3	事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/千 Nm3	(2013 年度) 44.0 (2014 年度) 46.4	デフォルト値	
M-4	事業実施前の活動量 (冷房期) 事業実施前の活動量 (暖房期)	h/年	冷房：2354 暖房：1660	計測	
M-5	事業実施後の活動量 (冷房期) 事業実施後の活動量 (暖房期)	h/年	冷房 (2013 年度) 2354 (2014 年度) 2354 (2015 年度) 2354 (2016 年度) 2354 暖房 (2013 年度) 1660 (2014 年度) 1661 (2015 年度) 1672 (2016 年度) 0	計測	
M-6	燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	t-CO2/GJ	0.0517	デフォルト値	
M-7	事業実施後の燃料使用量	千 Nm3/年	冷房 (2013 年度) 31.7 (2014 年度) 27.2	請求書	

			(2015 年度) 26.9 (2016 年度) 35.8 暖房 (2013 年度) 2.2 (2014 年度) 2.4 (2015 年度) 4.9 (2016 年度) 0.0		
--	--	--	--	--	--

④倉敷店

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合) 変更理由
M-1	事業実施前の燃料使用量	千m ³ /年	冷房：17.4 暖房：6.86	請求書	
M-2	事業実施前燃料の単位発熱量	GJ/t	50.1	デフォルト値	
M-3	事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/t	50.1	デフォルト値	
M-4	事業実施前の活動量（冷房期） 事業実施前の活動量（暖房期）	h/年	冷房：2568 暖房：1812	計測	
M-5	事業実施後の活動量（冷房期） 事業実施後の活動量（暖房期）	h/年	冷房 (2013年度) 2605 (2014年度) 2605 (2015年度) 2585 (2016年度) 2568 暖房 (2013年度) 1812 (2014年度) 1813 (2015年度) 1826 (2016年度) 0	計測	
M-6	燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	t-CO ₂ /GJ	0.0601	デフォルト値	
M-7	事業実施後の燃料使用量	千m ³ /年	冷房 (2013年度) 12.4 (2014年度) 12.4 (2015年度) 11.4 (2016年度) 11.1	請求書	

			暖房 (2013 年度) 1.1 (2014 年度) 1.5 (2015 年度) 1.6 (2016 年度) 0.0		
--	--	--	--	--	--

⑤宮崎店

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合) 変更理由
M-1	事業実施前の燃料使用量	千 Nm3/年	冷房：31.5 暖房：5.70	請求書	
M-2	事業実施前燃料の単位発熱量	GJ/千 Nm3	(2013 年度) 44.0 (2014 年度) 46.4	デフォルト値	
M-3	事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/千 Nm3	(2013 年度) 44.0 (2014 年度) 46.4	デフォルト値	
M-4	事業実施前の活動量 (冷房期) 事業実施前の活動量 (暖房期)	h/年	冷房：2140 暖房：1510	計測	
M-5	事業実施後の活動量 (冷房期) 事業実施後の活動量 (暖房期)	h/年	冷房 (2013 年度) 2140 (2014 年度) 2140 (2015 年度) 2140 (2016 年度) 2140 暖房 (2013 年度) 1510 (2014 年度) 1510 (2015 年度) 1520 (2016 年度) 0	計測	
M-6	燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	t-CO2/GJ	0.0517	デフォルト値	
M-7	事業実施後の燃料使用量	千 Nm3/年	冷房 (2013 年度) 21.9 (2014 年度) 19.8	請求書	

			(2015 年度) 17.4 (2016 年度) 20.7 暖房 (2013 年度) 1.6 (2014 年度) 2.1 (2015 年度) 3.3 (2016 年度) 0.0		
--	--	--	--	--	--

⑥熊本店

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法 根拠資料	(モニタリング方法に 変更ある場合) 変更理由
M-1	事業実施前の燃料使用量	千m ³ /年	冷房：16.4 暖房：5.42	請求書	
M-2	事業実施前燃料の単位発熱量	GJ/t	50.1	デフォルト値	
M-3	事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/t	50.1	デフォルト値	
M-4	事業実施前の活動量（冷房期） 事業実施前の活動量（暖房期）	h/年	冷房：2354 暖房：1661	計測	
M-5	事業実施後の活動量（冷房期） 事業実施後の活動量（暖房期）	h/年	冷房 (2013年度) 2354 (2014年度) 2354 (2015年度) 2354 (2016年度) 825 暖房 (2013年度) 1661 (2014年度) 1661 (2015年度) 1672 (2016年度) 0.0	計測	
M-6	燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	t-CO2/GJ	0.0601	デフォルト値	
M-7	事業実施後の燃料使用量	千m ³ /年	冷房 (2013年度) 16.6 (2014年度) 12.4 (2015年度) 11.7 (2016年度) 8.8	請求書	

			暖房 (2013 年度) 3.0 (2014 年度) 1.6 (2015 年度) 4.0 (2016 年度) 0.0		
--	--	--	--	--	--

7 排出削減量の計算

7.1 貝塚店

7.1.1 事業実施後排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm ³]	単位発熱量 [GJ/千 Nm ³]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
冷房 (2013 年度)	2,140	42.4	44.0	0.0517	96.5
冷房 (2014 年度)	2,140	37.4	46.4	0.0517	89.7
冷房 (2015 年度)	2,140	34.9	46.4	0.0517	83.7
冷房 (2016 年度)	2,140	38.3	46.4	0.0517	91.9
暖房 (2013 年度)	1,510	3.9	44.0	0.0517	8.9
暖房 (2014 年度)	1,510	6.1	46.4	0.0517	14.6
暖房 (2015 年度)	1,520	4.1	46.4	0.0517	9.8
暖房 (2016 年度)	0	0.0	46.4	0.0517	0.0
EMP _j		167.1			395.1

7.1.2 ベースライン排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm ³]	単位発熱量 [GJ/千 Nm ³]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
冷房 (2013 年度)	2,140	49.2	44.0	0.0517	111.9
冷房 (2014 年度)	2,140	49.2	46.4	0.0517	118.0
冷房 (2015 年度)	2,140	49.2	46.4	0.0517	118.0
冷房 (2016 年度)	2,140	49.2	46.4	0.0517	118.0
暖房 (2013 年度)	1,510	5.1	44.0	0.0517	11.6
暖房 (2014 年度)	1,510	5.1	46.4	0.0517	12.2
暖房 (2015 年度)	1,510	5.1	46.4	0.0517	12.2
暖房 (2016 年度)	1,510	0.0	46.4	0.0517	0.0
EM _{BL}		212.1			501.9

7.1.3 リークージ排出量

本事業によるリークージはなく、リークージ排出量は 0 である。

7.1.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	501.9 [t-CO ₂]
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{Pj}	395.1 [t-CO ₂]
リークージ排出量 (7.3)	LE	0 [t-CO ₂]
温室効果ガス排出削減量 (小数点以下切捨て)	ER	106 [t-CO₂]

7.2 香里園店

7.2.1 事業実施後排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm3]	単位発熱量 [GJ/千 Nm3]	排出係数 [t-CO2/GJ]	CO2 排出量 [t-CO2]
冷房 (2013 年度)	2,354	22.6	44.0	0.0517	51.4
冷房 (2014 年度)	2,352	27.1	46.4	0.0517	65.0
冷房 (2015 年度)	2,354	29.0	46.4	0.0517	69.6
冷房 (2016 年度)	2,354	24.0	46.4	0.0517	57.6
暖房 (2013 年度)	1,662	0.4	44.0	0.0517	0.9
暖房 (2014 年度)	1,664	0.7	46.4	0.0517	1.7
暖房 (2015 年度)	1,675	1.8	46.4	0.0517	4.3
暖房 (2016 年度)	0	0.0	46.4	0.0517	0.0
EMPj		105.6			250.5

7.2.2 ベースライン排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm3]	単位発熱量 [GJ/千 Nm3]	排出係数 [t-CO2/GJ]	CO2 排出量 [t-CO2]
冷房 (2013 年度)	2,355	34.4	44.0	0.0517	78.3
冷房 (2014 年度)	2,355	34.4	46.4	0.0517	82.5
冷房 (2015 年度)	2,355	34.4	46.4	0.0517	82.5
冷房 (2016 年度)	2,355	34.4	46.4	0.0517	82.5
暖房 (2013 年度)	1,664	6.7	44.0	0.0517	15.2
暖房 (2014 年度)	1,664	6.7	46.4	0.0517	16.1
暖房 (2015 年度)	1,664	6.7	46.4	0.0517	16.1
暖房 (2016 年度)	1,664	0.0	46.4	0.0517	0.0
EM _{BL}		157.7			373.2

7.2.3 リークージ排出量

本事業によるリークージはなく、リークージ排出量は 0 である。

7.2.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	373.2 [t-CO2]
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{Pj}	250.5 [t-CO2]
リークージ排出量 (7.3)	LE	0 [t-CO2]
温室効果ガス排出削減量 (小数点以下切捨て)	ER	122 [t-CO2]

7.3 高松店

7.3.1 事業実施後排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm ³]	単位発熱量 [GJ/千 Nm ³]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
冷房 (2013 年度)	2,354	31.7	44.0	0.0517	72.1
冷房 (2014 年度)	2,354	27.2	46.4	0.0517	65.2
冷房 (2015 年度)	2,354	26.9	46.4	0.0517	64.5
冷房 (2016 年度)	2,354	35.8	46.4	0.0517	85.9
暖房 (2013 年度)	1,660	2.2	44.0	0.0517	5.0
暖房 (2014 年度)	1,661	2.4	46.4	0.0517	5.8
暖房 (2015 年度)	1,672	4.9	46.4	0.0517	11.8
暖房 (2016 年度)	0	0.0	46.4	0.0517	0.0
EMP _j		131.1			310.3

7.3.2 ベースライン排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm ³]	単位発熱量 [GJ/千 Nm ³]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
冷房 (2013 年度)	2,354	41.0	44.0	0.0517	93.3
冷房 (2014 年度)	2,354	41.0	46.4	0.0517	98.4
冷房 (2015 年度)	2,354	41.0	46.4	0.0517	98.4
冷房 (2016 年度)	2,354	41.0	46.4	0.0517	98.4
暖房 (2013 年度)	1,660	8.2	44.0	0.0517	18.7
暖房 (2014 年度)	1,660	8.2	46.4	0.0517	19.7
暖房 (2015 年度)	1,660	8.2	46.4	0.0517	19.7
暖房 (2016 年度)	1,660	0.0	46.4	0.0517	0.0
EM _{BL}		188.6			446.6

7.3.3 リークージ排出量

本事業によるリークージはなく、リークージ排出量は 0 である。

7.3.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	446.6 [t-CO ₂]
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{Pj}	310.3 [t-CO ₂]
リークージ排出量 (7.3)	LE	0 [t-CO ₂]
温室効果ガス排出削減量 (小数点以下切捨て)	ER	136 [t-CO ₂]

7.4 倉敷店

7.4.1 事業実施後排出量

	活動量 [h/年]	使用量 [t]	単位発熱量 [GJ/t]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
冷房 (2013 年度)	2,605	25.6	50.1	0.0601	77.1
冷房 (2014 年度)	2,605	25.8	50.1	0.0601	77.7
冷房 (2015 年度)	2,585	23.6	50.1	0.0601	71.1
冷房 (2016 年度)	2,568	23.0	50.1	0.0601	69.3
暖房 (2013 年度)	1,812	2.4	50.1	0.0601	7.2
暖房 (2014 年度)	1,813	3.1	50.1	0.0601	9.3
暖房 (2015 年度)	1,826	3.3	50.1	0.0601	9.9
暖房 (2016 年度)	0	0.0	50.1	0.0601	0.0
EMP _j		106.8			321.6

7.4.2 ベースライン排出量

	活動量 [h/年]	使用量 [t]	単位発熱量 [GJ/t]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
冷房 (2013 年度)	2,568	36.6	50.1	0.0601	110.2
冷房 (2014 年度)	2,568	36.6	50.1	0.0601	110.2
冷房 (2015 年度)	2,568	36.3	50.1	0.0601	109.3
冷房 (2016 年度)	2,568	36.1	50.1	0.0601	108.7
暖房 (2013 年度)	1,812	14.2	50.1	0.0601	42.8
暖房 (2014 年度)	1,812	14.2	50.1	0.0601	42.8
暖房 (2015 年度)	1,812	14.3	50.1	0.0601	43.1
暖房 (2016 年度)	1,812	0.0	50.1	0.0601	0.0
EM _{BL}		188.3			567.1

7.4.3 リークエージ排出量

本事業によるリークエージはなく、リークエージ排出量は 0 である。

7.4.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	567.1 [t-CO ₂]
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{Pj}	321.6 [t-CO ₂]
リークエージ排出量 (7.3)	LE	0 [t-CO ₂]
温室効果ガス排出削減量 (小数点以下切捨て)	ER	245 [t-CO ₂]

7.5 宮崎店

7.5.1 事業実施後排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm ³]	単位発熱量 [GJ/千 Nm ³]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
冷房 (2013 年度)	2,140	21.9	44.0	0.0517	49.8
冷房 (2014 年度)	2,140	19.8	46.4	0.0517	47.5
冷房 (2015 年度)	2,140	17.4	46.4	0.0517	41.7
冷房 (2016 年度)	2,140	20.7	46.4	0.0517	49.7
暖房 (2013 年度)	1,510	1.6	44.0	0.0517	3.6
暖房 (2014 年度)	1,510	2.1	46.4	0.0517	5.0
暖房 (2015 年度)	1,520	3.3	46.4	0.0517	7.9
暖房 (2016 年度)	0	0.0	46.4	0.0517	0.0
EMP _j		86.8			205.2

7.5.2 ベースライン排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm ³]	単位発熱量 [GJ/千 Nm ³]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
冷房 (2013 年度)	2,140	31.5	44.0	0.0517	71.7
冷房 (2014 年度)	2,140	31.5	46.4	0.0517	75.6
冷房 (2015 年度)	2,140	31.5	46.4	0.0517	75.6
冷房 (2016 年度)	2,140	31.5	46.4	0.0517	75.6
暖房 (2013 年度)	1,510	5.7	44.0	0.0517	13.0
暖房 (2014 年度)	1,510	5.7	46.4	0.0517	13.7
暖房 (2015 年度)	1,510	5.7	46.4	0.0517	13.7
暖房 (2016 年度)	1,510	0.0	46.4	0.0517	0.0
EM _{BL}		143.1			338.9

7.5.3 リークエージ排出量

本事業によるリークエージはなく、リークエージ排出量は 0 である。

7.5.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	338.9 [t-CO ₂]
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{Pj}	205.2 [t-CO ₂]
リークエージ排出量 (7.3)	LE	0 [t-CO ₂]
温室効果ガス排出削減量 (小数点以下切捨て)	ER	133 [t-CO₂]

7.6 熊本店

7.6.1 事業実施後排出量

	活動量 [h/年]	使用量 [t]	単位発熱量 [GJ/t]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
冷房 (2013 年度)	2,354	34.5	50.1	0.0601	103.9
冷房 (2014 年度)	2,354	25.6	50.1	0.0601	77.1
冷房 (2015 年度)	2,354	24.2	50.1	0.0601	72.9
冷房 (2016 年度)	825	18.3	50.1	0.0601	55.1
暖房 (2013 年度)	1,661	6.1	50.1	0.0601	18.4
暖房 (2014 年度)	1,661	3.2	50.1	0.0601	9.6
暖房 (2015 年度)	1,672	8.2	50.1	0.0601	24.7
暖房 (2016 年度)	0	0.0	50.1	0.0601	0.0
EMP _j		120.1			361.7

7.6.2 ベースライン排出量

	活動量 [h/年]	使用量 [t]	単位発熱量 [GJ/t]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
冷房 (2013 年度)	2,354	34.0	50.1	0.0601	102.4
冷房 (2014 年度)	2,354	34.0	50.1	0.0601	102.4
冷房 (2015 年度)	2,354	34.0	50.1	0.0601	102.4
冷房 (2016 年度)	2,354	11.9	50.1	0.0601	35.8
暖房 (2013 年度)	1,661	11.2	50.1	0.0601	33.7
暖房 (2014 年度)	1,661	11.2	50.1	0.0601	33.7
暖房 (2015 年度)	1,661	11.3	50.1	0.0601	34
暖房 (2016 年度)	1,661	0.0	50.1	0.0601	0.0
EM _{BL}		147.6			444.4

7.6.3 リークージ排出量

本事業によるリークージはなく、リークージ排出量は 0 である。

7.6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	444.4 [t-CO ₂]
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{Pj}	361.7 [t-CO ₂]
リークージ排出量 (7.3)	LE	0 [t-CO ₂]
温室効果ガス排出削減量 (小数点以下切捨て)	ER	82 [t-CO ₂]

7.1～7.6 より排出削減量は以下のようになる

	BL 排出量 t CO2	PJ 排出量 t CO2	排出削減量 t CO2
①貝塚店	501.9	395.1	106
②香里園店	373.2	250.5	122
③高松店	446.6	310.3	136
④倉敷店	567.1	321.6	245
⑤宮崎店	338.9	205.2	133
⑥熊本店	444.4	361.7	82
合計	2672.1	1844.4	824

8 省エネルギー量

① 貝塚店

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン -実績 (①-②)
246.2	194.0	52.2

② 香里園店

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン -実績 (①-②)
183.1	122.6	60.5

③ 高松店

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン -実績 (①-②)
223.8	155.6	68.2

④倉敷店

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン －実績 (①－②)
246.8	140.0	106.8

⑤宮崎店

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン －実績 (①－②)
170.0	103.1	66.9

⑥熊本店

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン －実績 (①－②)
193.5	157.4	36.1

省エネルギー量 (合計) = 390.7 (kl)

9 再生可能エネルギー利用量

該当なし